

キャップ不要な給水袋

和弘プラスチック工業が販売開始

熱シールで止水弁

PE液体容器、低コストに

和弘プラスチック工業 (大阪府八尾市安中町8-1-1、電話072-1923-4201) は、災害現場、断水時、アウトドアなどのシーンで活用できる「破袋せず水漏れしない水袋」(非

常用水運搬袋)を開発、このほど販売を開始した。同製品はポリエチレン製で、キャップやチャックなどを必要としない構造が特長。独自の水弁システムにより取出口を付けることなく取水で

き、水漏れしないという。同社では、国産原料を使い、フィルム製造から最終加工まで一貫して八尾市内で行う安心・安全な国産製品としてもアピール、企業や地方自治体の備蓄品での採用を指している。



この水袋は幅400mm×縦550mm、膜厚0.2mmの規格品。1袋でおよそ10リットルの水を入れることができる。

最大の特長は、ポリエチレン袋に熱シールだけで形成する「三角止水弁」(同社特許技術)を採用したこと。フィルムに三角形の圧着を行い、止水機能を持たせている。熱シール部分には約20mmの穴が開いていて、

ホースで水を注入した後、ゆっくりと横に倒

し、弁部分を持ち上げると止水が完了。約100kgの負荷を受けても破袋せず、水漏れしないため、10段まで積み上げて保管が可能という。

このほかの特長として①使用前の厚さは400μm、ミクロンで運搬時、保管時に場所を取らない②100%ポリエチレンフィルムでサイクルでき、焼却時もダイオキシン類の発生がない③三角止水弁に傷が付かない限り複数回利用可能④外形16mm未満のホースで液体の出し入れが可能(など)。

災害時などの非常用水運搬袋としてだけでなく、工場間移動用水袋、混合液作成袋といった液体を封入する用途へ幅広く展開していくことができるとしている。

販売価格は規格品1枚当たり300円を予定。国産品として業界最安値を達成したことから企業や地方自治体の備蓄品での採用を期待しており、販売目標は年間80万枚、

売上は同1億2000万円を見込んでいる。さらに同社では、三角止水弁

た商品開発にも積極的に取り組んでいく方針で、協業企業を募っている。

規格品以外の場合は、三角止水弁の加工サイズ折径400mm、三角止水弁分除くカット長200mm〜2000mm。折径は個別注文で希望サイズの開発も行うという。

製品をOEM商材、仕入商品として扱う代理店契約や三角止水弁を利用し

◆情報をお寄せください
新製品、催し、業界への提言、ご意見など。
電話 050-1100-7044、Eメール poj@tokyo-poly.com
(株)ポリオレフィン時報社



非常用水運搬袋 (10L)

注水前

注水後

「破袋せず水漏れしない水袋」